

第58期 中間報告書

2016.4.1 ▶ 2016.9.30



CONTENTS

トップインタビュー	1p
センシング技術とサービスで、 世界中の安全・安心・快適な 環境創りに挑戦します。	
「中期経営計画 2016-2018」に ついて	3p
新商品紹介①	4p
事業・商品紹介と 商品別営業の概況(連結)	5p
連結財務諸表	7p
個別財務諸表	9p
新商品紹介②	10p
株式の状況	11p
ネットワーク	12p
会社概要	13p
株主メモ	14p

センシング技術とサービスで、 世界中の安全・安心・快適な 環境創りに挑戦します。



代表取締役社長

重盛 徹志

Q この第2四半期までを振り返ってみて、いかがでしょうか？

A まず、経済環境を見ると、雇用や所得に関して改善の傾向が見られるものの、新興国の経済の減速の影響から、生産や輸出については厳しい状況も見られ、不透明な状況が続いています。

このような環境の中、当社グループは、家庭用ガス警報器関連や工業用定置式ガス検知警報器関連、携帯用ガス検知器関連といった保安・防災の分野から、二オイセンサ、独自のガスセンサを応用した火災予知、医療分野、室内の空気質検知、さらには省エネルギーに貢献できるセンサや機器の開発などへ、その展開を広げています。そして新商品開発においてはお客さまの視点に立った開発を行ない、お客さま満足

度の向上を目指しています。

その結果、家庭用ガス警報器関連の売上が順調に推移し、売上高は107億4千万円と前年同四半期に比べ12.7%の増加となりました。利益につきましてはフィガロ技研株式会社の株式取得に関する費用、のれん償却に伴う費用の発生等の影響から、経常利益が同37.4%減の5億5千8百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益が同49.8%減の2億8千万円となりました。

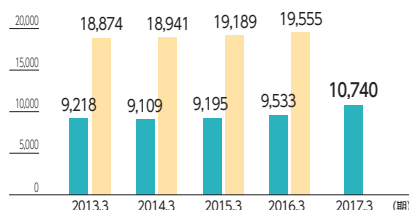
Q フィガロ技研株式会社のグループ化で、
通期の見通しが期初から変わりました。

A 7月1日にフィガロ技研株式会社の株式66.6%を取得して当社のグループ会社としました。それにより

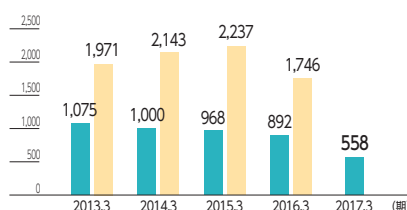
▶ 連結財務ハイライト

■ 第2四半期 ■ 通期

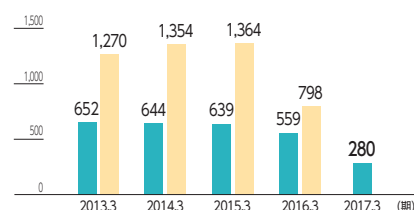
売上高 (単位: 百万円)



経常利益 (単位: 百万円)



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益 (単位: 百万円)



この第2四半期から当社グループは、子会社9社および関係会社4社により構成されています。そのため予想数字の修正をさせていただきました。

当社グループを取り巻く環境については、国内の景気は緩やかな回復基調ではあるものの、海外経済の不確実性の高まりなどの不安定な要素もあります。

このような環境ではありますが、当社グループは、引き続き社会全体に見られる安全・安心への意識の高まりや、環境に対する取り組みの強化といった社会の変化に対応し、新商品の開発や営業活動の強化、原価の低減や経費削減による経営の効率化などに取り組み、業績の向上に努めてまいります。

通期の連結売上高は249億4千2百万円、経常利益は19億2千1百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は11億7千7百万円と予想しております。

Q 今年の第2四半期までは、 新商品が数多く発売されました。

A はい。ここ数年の商品開発に注力してきた成果が出てきているのだと思っています。家庭用ガス警報器では、業界初の音声警報機能を搭載した単体型のLPガス用ガス警報器を開発しました。携帯用ガス検知器では、労働安全衛生法の改正によりリスクアセスメントの実施が義務付けとなったことを受け、対象となる化学物質のリスクの見積もりや日常管理には、簡易測定器を用いての気中濃度測定が

有用なことから、ポータブルタイプのVOCリアルタイムモニタを開発しました。また、都市ガス事業者向けのカート式ガス検知器を大阪ガス株式会社様と共同開発しました。工業用定置式ガス検知警報器では、国際標準化された工業用無線規格を採用した無線ガス検知部を開発しました。これにより信号用配線が不要となり、お客さまの設置の際のイニシャルコストの低減になると期待しています。このように、家庭用から産業用まで幅広く新商品を提供でき、お客さまのニーズにお応えできたのではないかと考えています。

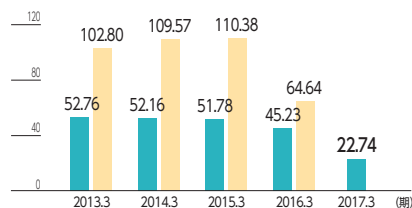
Q 最後に株主のみなさまへメッセージをお願いします。

A 2014年に竣工したガスセンサの中核施設である「コスモセンサセンター」に続き、フィガロ技研株式会社の株式取得とここ数年当社としては大きな投資を行いました。これらの投資をグループの成長に結び付けるべく、今期策定した「中期経営計画 2016-2018」の推進に邁進してまいります。

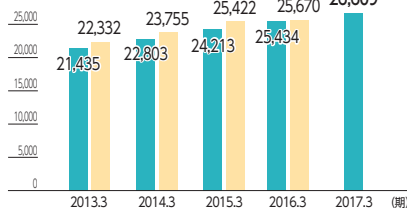
今後も当社グループでは、お客さまの視点に立った新商品の開発に一層注力して取り組んでいきます。そして営業・サービス体制および品質管理体制を強化し、世界中のみなさまの安全・安心・快適な環境創りに挑戦してまいります。

株主のみなさまにおかれましては、これからも当社グループへの一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

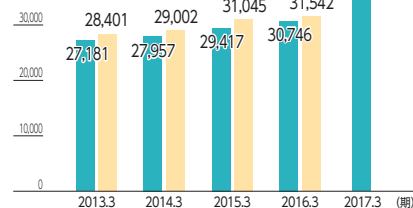
一株当たり四半期(当期)純利益 (単位:円)



純資産 (単位:百万円)



総資産 (単位:百万円)



▶ 「中期経営計画 2016-2018」について

新コスモス電機グループの使命

「私たちは、センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦します。」

当社グループでは2016年度から2018年度までの中期経営計画を策定しています。ここではその概要についてご説明します。

「中期経営計画 2016-2018」の重点課題

今年7月のフィガロ技研株式会社のグループ化に伴い、新たに「センシング技術とサービスで、世界中の安全・安心・快適な環境創りに挑戦する」ことをグループの使命として、以下の課題に取り組んでまいります。

①センサの研究開発力向上と生産体制の効率化

2014年に竣工したガスセンサの中核施設「コスモスセンサセンター」を中心に、フィガロ技研株式会社のグループ化とあわせてセンサの研究開発力の強化と生産体制の効率化と強化をはかります。

②海外事業の強化

日本で培ったガスセンサ・ガス警報器を通じて安全・安心を世界に広めていく事業展開を行ないます。アジア圏での事業強化として、昨年11月のシンガポール連絡事務所開設に続き、今年12月に韓国に独資の現地法人を設立しました。

③新事業・新技術の構築

ガス警報器・ガス検知器の提供に加え、これからはデバイスとしてのガスセンサ・ガスセンサユニットの提供も行ないます。

④エネルギー多様化への対応

ガス・電力の自由化によるエネルギー市場の変化、また水素など新たなエネルギー市場にも対応した商品を提供していきます。

⑤新市場への対応

市場ニーズに対応できる商品を的確に投入して売上増につなげます。

⑥人材の活用

性別・年齢・国籍などにとらわれない、積極的な人材の登用・採用を推進するとともに、生産性の高い働き方を目指します。

(単位：百万円)

		2016年度 (2017年3月期)	2018年度 (2019年3月期)
売上高		24,942	28,566
	家庭用ガス警報器関連	11,755	13,633
	工業用定置式ガス検知 警報器関連	6,518	7,137
	携帯用ガス検知器関連	5,310	5,881
	その他	1,359	1,915
営業利益 * () 内は営業利益率		1,738 (7.0%)	2,891 (10.1%)
ROE		4.1%	5.9%

経営目標

- ①売上高：中期経営計画最終年度(2018年度)に、285億円以上を目指す
- ②売上高営業利益率：10%以上を目指す
- ③海外売上高比率：中期経営計画最終年度に25%以上を目指す

株主還元

業績や設備投資計画とあわせて総合的に勘案し、安定して継続的な配当を実現することで、株主の皆さまへの利益の還元につとめてまいります。

単体型として業界で初めて 音声警報を採用した、 LPガス用ガス警報器を 開発しました。



家庭用のLPガス警報器は発売以来40年以上にわたり多くのご家庭でお使いいただき、ご家庭でのLPガスの安全を見守ってきました。

LPガスをご使用のご家庭で数多く使われている単体型*のガス警報器は、ガス漏れを検知した時の警報音がブザー音であるため、特にご高齢者のいるご家庭などで「ガス警報器が作動したかどうかわからない」や、「ガス警報器が鳴った」という連絡を受けガス会社が駆けつけてみると、ほかの家電製品のブザー音だったといった事例が発生しています。

このたび開発した「LPガス用ガス警報器 XA-686A」は、単体型として業界で初めて音声警報を採用。加えて従来よりもゆっくりとした音声警報とすることで、監視時には緑色、警報時には赤色でお知らせする2色のランプとあわせて、子供から高齢者までわかりやすく警報をお知らせします。

さらにガス漏れだけではなく、機器故障や交換期限切れのお知らせなども音声とランプの組み合わせでお知らせしますので、警報器の状態がわかりやすくなりました。

※単体型：外部出力機能を持たない、シンプルなガス警報器のことを指します。

ガス貯蔵施設や石油化学工場など数多くの施設でガス検知警報器が使われており、その多くは指示警報部とガス検知部に分かれています。ガス検知部は指示警報部とケーブルでつながることで、ガス漏れやガス検知部の状態等の情報を指示警報部へ送っています。しかし、多くの現場ではガス検知部を複数設置する必要があるため「配線コストがかかる」「有線であるためガス検知部の設置位置が限定される」などの課題がありました。

このたび開発した「無線ガス検知部 KD-100シリーズ」は、国際標準化された工業用無線規格であり汎用性の高い「ISA100.11a」を採用。無線でガス濃度信号を送るので、信号用の配線が不要となり、設置にかかるインシャルコストを大幅に削減できます。また、上位システムから各種設定、ゼロ調整、テスト設定などの変更が可能でありガス検知部ごとでの設定が不要。さらに、無線に加えて4-20mA出力や接点出力での信号出力が可能です。また、KD-100を無線変換器とし、当社の他ガス検知部と組み合わせることにより有線のガス検知部も無線化することが可能です。

国際標準化された 工業用無線規格を採用した、 無線ガス検知部を 開発しました。



▶ 事業・商品紹介と商品別営業の概況(連結)

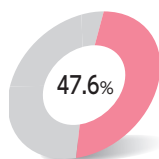
家庭用ガス警報器関連

売上高	51億7百万円	前年同四半期比 24.4%	▲
-----	---------	------------------	---

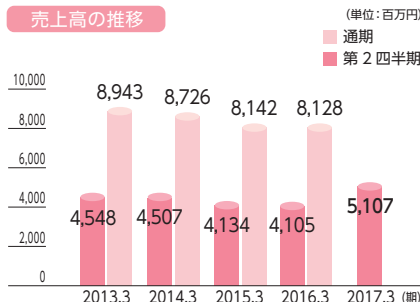
事業・商品 ご家庭の台所での万が一のガス漏れ、不完全燃焼を見張るガス警報器。寝室などで煙を感知してお知らせする火災警報器。大切な家族の命や財産を守り、毎日の暮らしに安心をお届けするため、商品のラインナップを充実させていきます。

営業の概況 都市ガス・LPガス用ガス警報器および警報器用ガスセンサの販売が好調に推移し、売上高は51億7百万円(前年同四半期比24.4%増)となりました。

売上高構成比



売上高の推移



LPガス用ガス警報器



住宅用火災・CO警報器



住宅用火災・都市ガス・CO警報器

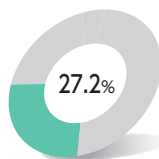
工業用定置式ガス検知警報器関連

売上高	29億2千3百万円	前年同四半期比 3.7%	▼
-----	-----------	-----------------	---

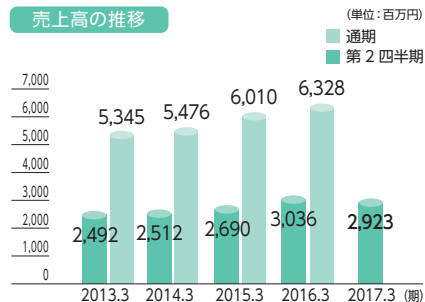
事業・商品 ガスタンク、石油化学工場、半導体製造工場、水素ステーションなどでは、ガスの安全管理が不可欠です。お客さまのニーズにお応えするため、ガス検知警報器一体型から数千点のガス検知部を持つ大型システムまで、現場に応じた最適なシステムを提案・提供しています。

営業の概況 電力業界および半導体業界向けの販売が減少したため、売上高は29億2千3百万円(前年同四半期比3.7%減)となりました。

売上高構成比



売上高の推移



半導体材料ガス用
ガス検知部



濃度表示機能付
ガス検知部

業務用携帯型ガス検知器関連

売上高

22億5百万円

前年同四半期比

1.2%



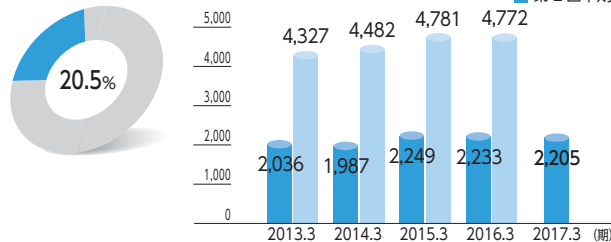
事業・商品 ガス配管からのガス漏れチェック、工事現場でのガス漏れ検知、酸欠・中毒事故防止のために使用される携帯用ガス検知器。作業者のみなさまが使いやすいように小型化・軽量化を目指して開発しています。また、センサユニット交換式など、使いやすさの追求もしています。

営業の概況 都市ガス業界向けの販売が減少したため、売上高は22億5百万円(前年同四半期比1.2%減)となりました。

売上高構成比

売上高の推移

(単位:百万円)

■ 通期
■ 第2四半期

マルチ型ガス検知器



超小型ガス検知器

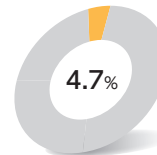


可燃性ガス探知器

その他

事業・商品 さまざまなニオイの強弱の測定、トルエン・キシレンなどの揮発性有機化合物(VOC)の現場での分析、換気扇の運転を自動でコントロールして、冷暖房の効率化で省エネルギーに貢献する「換気扇コントローラ」。どれもガスセンサの応用から生まれました。独自のガスセンサ技術により、日々新しい可能性を追求しています。

売上高構成比



ポータブル型ホルムアルデヒド簡易測定器



換気扇コントローラ



ポータブルガス分析装置



ニオイセンサ

●●● 連結貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
資産の部			
流動資産	20,046	18,807	19,647
現金及び預金	8,267	8,936	9,175
受取手形及び売掛金	6,395	5,693	6,156
たな卸資産	4,955	3,704	4,037
繰延税金資産	253	221	196
その他	261	332	170
貸倒引当金	△85	△80	△90
固定資産	14,339	11,939	11,895
有形固定資産	7,392	6,557	6,558
建物及び構築物	2,666	2,626	2,562
機械装置及び運搬具	896	272	490
土地	3,149	2,881	2,881
建設仮勘定	165	335	161
その他	515	441	461
無形固定資産	2,408	473	439
投資その他の資産	4,538	4,908	4,896
投資有価証券	3,131	4,203	4,204
繰延税金資産	57	65	58
その他	1,349	641	635
貸倒引当金	△1	△1	△1
資産合計	34,386	30,746	31,542

科 目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
負債の部			
流動負債	5,074	4,184	4,648
支払手形及び買掛金	2,754	2,470	2,725
短期借入金	150	—	—
1年内返済予定の長期借入金	210	—	—
未払法人税等	342	311	206
賞与引当金	560	437	354
製品保証引当金	121	122	123
その他	935	841	1,238
固定負債	2,702	1,126	1,223
長期借入金	1,422	—	—
退職給付に係る負債	961	940	956
役員退職慰労引当金	256	180	190
その他	62	6	76
負債合計	7,777	5,311	5,872
純資産の部			
株主資本	24,551	24,361	24,601
資本金	1,460	1,460	1,460
資本剰余金	934	934	934
利益剰余金	22,476	22,252	22,492
自己株式	△319	△285	△285
その他の包括利益累計額	773	957	950
その他有価証券評価差額金	772	721	811
為替換算調整勘定	△24	153	100
退職給付に係る調整累計額	25	82	37
非支配株主持分	1,284	116	119
純資産合計	26,609	25,434	25,670
負債純資産合計	34,386	30,746	31,542

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

※2016年7月にグループ会社となったフィガロ技研株式会社およびその子会社の資産および負債を取り込んでおり、それぞれの総額が増加しております。

 連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 2016年4月 1日 から 2016年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2015年4月 1日 から 2015年9月30日まで	前 期 2015年4月 1日 から 2016年3月31日まで
売上高	10,740	9,533	19,555
売上原価	6,095	5,111	10,506
売上総利益	4,644	4,421	9,049
販売費及び一般管理費	4,136	3,598	7,398
営業利益	508	823	1,651
営業外収益	89	71	119
受取利息及び配当金	49	35	62
その他	40	35	56
営業外費用	39	2	24
経常利益	558	892	1,746
特別利益	13	0	0
特別損失	0	1	360
税金等調整前 四半期(当期) 純利益	571	891	1,386
法人税等	264	328	580
四半期(当期) 純利益	307	562	805
非支配株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	26	3	6
親会社株主に帰属する 四半期(当期) 純利益	280	559	798

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

 連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 2016年4月 1日 から 2016年9月30日まで	前第2四半期(累計) 2015年4月 1日 から 2015年9月30日まで	前 期 2015年4月 1日 から 2016年3月31日まで
営業活動による キャッシュ・フロー	789	754	1,414
投資活動による キャッシュ・フロー	△2,715	△731	△1,093
財務活動による キャッシュ・フロー	1,150	△296	△297
現金及び現金同等物に 係る換算差額	△108	11	△33
現金及び現金同等物の 増減額	△882	△262	△9
現金及び現金同等物の 期首残高	8,876	8,886	8,886
現金及び現金同等物の 四半期末(期末) 残高	7,993	8,623	8,876

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●●● 個別貸借対照表(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期末 2016年9月30日現在	前第2四半期末 2015年9月30日現在	前期末 2016年3月31日現在
資産の部			
流動資産	13,116	14,805	15,644
固定資産	14,386	11,384	11,288
有形固定資産	5,852	6,033	6,002
無形固定資産	368	464	429
投資その他の資産	8,165	4,886	4,855
資産合計	27,502	26,189	26,932
負債の部			
流動負債	4,191	4,224	4,763
固定負債	2,258	969	1,003
負債合計	6,449	5,194	5,767
純資産の部			
株主資本	20,281	20,273	20,353
資本金	1,460	1,460	1,460
資本剰余金	934	934	934
利益剰余金	18,173	18,165	18,245
自己株式	△285	△285	△285
評価・換算差額等	771	721	811
その他有価証券評価差額金	771	721	811
純資産合計	21,053	20,995	21,165
負債純資産合計	27,502	26,189	26,932

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

●●● 個別損益計算書(要旨)

(単位：百万円)

科 目	当第2四半期(累計) 2016年4月 1日 から 2016年9月30日 まで	前第2四半期(累計) 2015年4月 1日 から 2015年9月30日 まで	前 期 2015年4月 1日 から 2016年3月31日 まで
売上高	9,552	9,577	19,653
売上原価	6,385	6,155	12,701
売上総利益	3,167	3,421	6,951
販売費及び一般管理費	2,949	2,917	6,033
営業利益	217	504	918
営業外収益	126	69	205
営業外費用	21	1	16
経常利益	322	572	1,106
特別利益	13	—	—
特別損失	0	0	355
税引前四半期(当期)純利益	335	571	751
法人税、住民税及び事業税	111	215	213
法人税等調整額	△0	0	101
四半期(当期)純利益	224	357	437

※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

作業場所で簡単にVOC濃度をトータルに測定する、VOCリアルタイムモニターを開発しました。



労働安全衛生法の改正により、2016年6月1日よりリスクアセスメントの実施が義務付けられました。これは業種や事業場の規模にかかわらず、対象化学物質(640物質)の製造・取扱いを行なうすべての事業場が対象となります。対象となる化学物質のリスクの見積もりや日常管理には、簡易測定器を用いての気中濃度測定が有用となります。気中濃度を測定することにより、定量的にリスクを判定することが可能です。

このたび開発した「VOCリアルタイムモニター XP-3120-V」は、作業場所で簡単にVOC濃度をトータルに測定することができます。これにより、作業場における化学物質の日常傾向管理や、作業場内で化学物質が高濃度になる箇所の特定制が可能で、小型・軽量で手に持ちやすいハンディタイプで本質安全防爆構造(Ex ib d IIB T3)。デジタルバーグラフとデジタル数字で測定濃度をわかりやすくお知らせします。

リスクアセスメントとは・・・

化学物質やその製剤の持つ危険性や有害性を特定し、それによる労働者への危険又は健康障害を生じるおそれの程度を見積もり、リスクの低減対策を検討すること。

携帯用ガス検知器は、作業員の安全を守るため、作業環境の事前測定や作業中の安全確保にさまざまな作業現場で使用されています。ガス検知器の中で都市ガス業界でお使いいただくカート式ガス検知器は、地中埋設管からのガス漏えい調査を目的として多くのガス事業者にご使用いただいています。ご使用いただくなかで、調査の記録における手間の軽減、検査時の騒音抑制や長期使用への耐久性、さらには可搬時や収納時のコンパクト化などの要望や課題が出てきました。

今回、大阪ガス株式会社と共同開発したカート式高性能ガス検知器「XP-707Ⅲai」は、操作パネルに大きく視認性の高い液晶パネルを採用。また、調査に適正な速度(4km/h以上)を超えるとお知らせする速度表示機能を搭載し、Bluetoothイヤホンにも対応するなど、確実な作業性をサポートします。

また、ハンドル部分の形状の変更と操作パネルの位置を調整することでコンパクト化を実現。持ち運びも容易になり、特に収納性が向上しています。さらにGPSを内蔵しており位置情報の取得が可能。測定結果や警報履歴、位置情報を本体(SDカード)に自動的に記録します。

地中埋設管からの微量なガス漏れを検知する、カート式ガス検知器を共同開発しました。

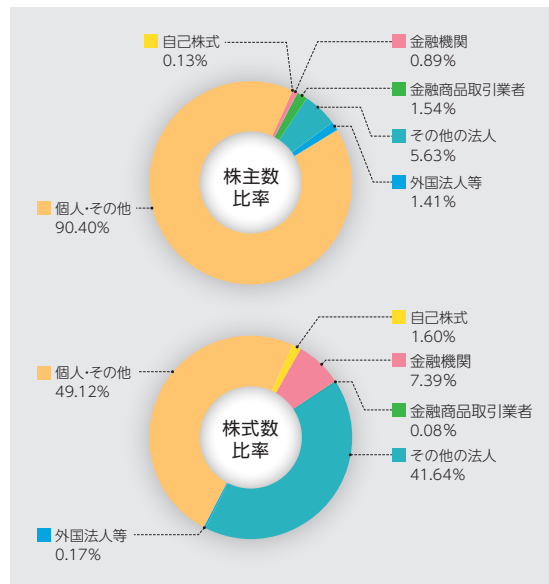


株式の状況 (2016年9月30日現在)

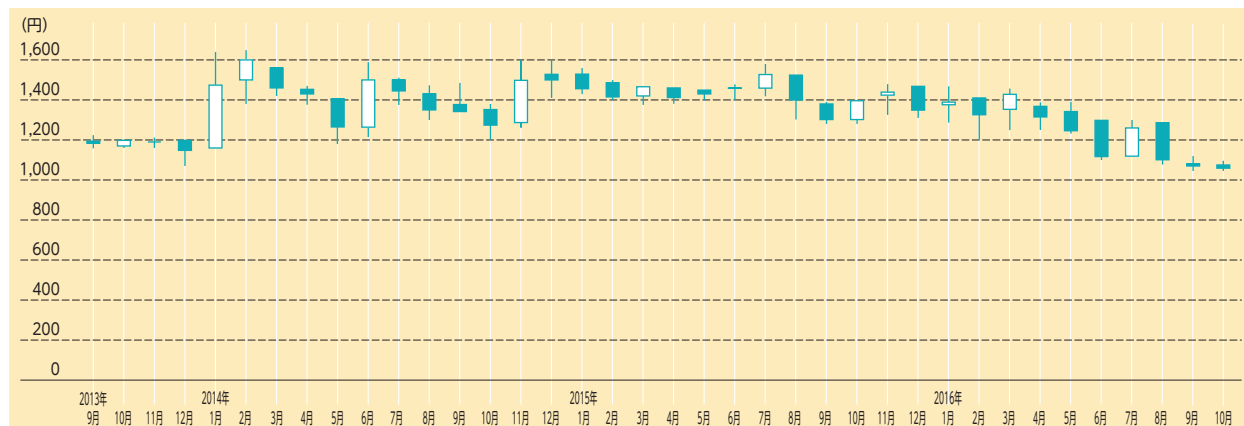
発行可能株式総数 50,000,000株
 発行済株式の総数 12,561,000株
 株主数 781名
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
岩谷産業株式会社	2,601(千株)	21.05(%)
有限会社アール・ケイ	572	4.63
新コスモス電機取引先持株会	500	4.05
柴田 芳市	494	4.00
新コスモス電機従業員持株会	480	3.89
笠原 美都子	475	3.85
大阪瓦斯株式会社	442	3.58
第一生命保険株式会社	385	3.11
齋賀 優子	371	3.01
重盛 徹志	344	2.79

(注) 1. 持株比率は自己株式(200,890株)を控除して計算しております。
 2. 発行済株式の総数には自己株式(200,890株)を含んでおります。



株価の推移



事業所 (2016年9月30日現在)

本社・西日本支社 〒532-0036 大阪市淀川区三津屋中2-5-4
TEL.(06)6308-3112

コスモセンサセンター 〒673-1111 兵庫県三木市吉川町上荒川748-1
TEL.(0794)72-2033

東日本支社 〒105-0013 東京都港区浜松町2-6-2
浜松町262ビル TEL.(03)5403-0511

中部支社 〒461-0004 名古屋市中区葵3-15-31
千種第2ビル TEL.(052)933-1680

札幌営業所 〒060-0005 札幌市中央区北五条西6-2-2
札幌センタービル TEL.(011)231-1101

仙台営業所 〒983-0852 仙台市宮城野区榴岡4-12-7
ティエヌビルディング TEL.(022)295-6061

新潟営業所 〒950-0916 新潟市中央区米山3-1-201
ファースト米山 TEL.(025)365-1390

静岡営業所 〒420-0851 静岡県静岡市葵区黒金町11-7
三井生命静岡駅前ビル2F TEL.(054)255-1901

北陸営業所 〒920-0065 金沢市ニツ屋町8-1
アーバンユースフルビル
TEL.(076)234-5611

岡山営業所 〒710-0826 倉敷市老松町2-7-4
倉敷ビル5F TEL.(086)435-5087
※2016年8月29日に上記住所へ移転しました。

広島営業所 〒732-0827 広島市南区稲荷町2-16
広島稲荷町第一生命ビル
TEL.(082)568-2800

九州営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東3-1-1
NORITZビル
TEL.(092)431-1881

北関東出張所 TEL.(048)643-1223

千葉出張所 TEL.(043)209-1650

神奈川出張所 TEL.(045)473-6451

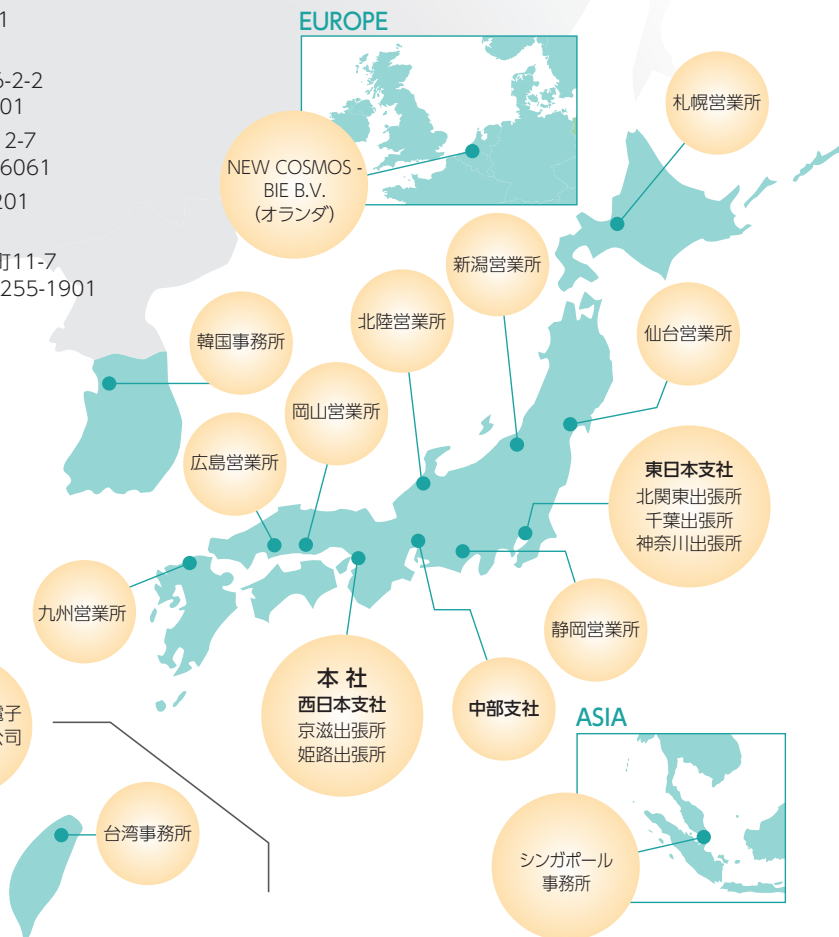
京滋出張所 TEL.(077)526-8222

姫路出張所 TEL.(079)225-8965

海外事務所
台湾事務所
韓国事務所
シンガポール事務所

主な関係会社 (2016年9月30日現在)

新コスモス電機メンテナンス株式会社
コスモサービス株式会社
イズム電機株式会社
フィガロ技研株式会社
新考思莫施電子(上海)有限公司
NEW COSMOS - BIE B.V. (オランダ)



会社概要 (2016年9月30日現在)

社 名 新コスモス電機株式会社
 設 立 1960年6月15日
 資 本 金 1,460百万円
 従業員数 424名
 主要商品 家庭用ガス警報器
 LPガス警報器／都市ガス警報器／CO警報器／住宅用火災警報器／
 LPガス集中監視システム 等
 工業用定置式ガス検知警報器
 各種ガス検知警報器／総合ガス保安管理システム／電力線搬送方式ガス漏洩
 監視システム／シールド工事用ガス監視システム 等
 業務用携帯型ガス検知器
 可燃性ガス検知器／毒性ガス検知器／酸素濃度計／複合型ガス検知器 等
 その他
 ニオイセンサ／室内空気汚れセンサ 等

ホームページのご案内

当社に関する情報は、当社ホームページでも
 ご覧いただけます。ぜひ一度アクセスください。



<https://www.new-cosmos.co.jp/>

役員 (2016年9月30日現在)

代表取締役社長	重 盛 徹 志
取締役副社長執行役員	松 原 義 幸
取締役副社長執行役員	高 橋 良 典
取締役常務執行役員	飯 森 龍
取締役常務執行役員	相 川 勝之助
取締役上席執行役員	金 井 隆 生
取締役上席執行役員	別 府 辰 人
取締役上席執行役員	竹 内 徹
社外取締役	谷 本 光 博
常勤監査役	前 條 忠 則
社外監査役	池 上 久 雄
社外監査役	山 岸 和 彦

執行役員 (2016年9月30日現在)

執行役員	海外営業本部海外計画推進部長	山 下 栄 二
執行役員	センサ本部長	中 谷 幹 哉
執行役員	海外営業本部第一営業部長	王 宏 仁
執行役員	インダストリー営業本部 営業開発部長	岩 見 知 明
執行役員	品質管理本部長	前 川 芳 郎
執行役員	インダストリー営業本部 西日本営業部長 兼 西日本支社長	安 本 哲 也
執行役員	海外営業本部副本部長 兼 第二営業部長 兼 技術開発本部長補佐	長 井 孝 行
執行役員	東日本支社長	池 田 俊 雄
執行役員	中部支社長	服 部 雅 夫
執行役員	管理本部副本部長 兼 経理財務部長	村 田 泰 造

見通しに関する注意事項

本報告書に記載している将来に関する予測については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいています。
 実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おください。

 株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
中間配当金受領株主確定日	9月30日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL.0120-094-777(通話料無料)
上 場 市 場	東京証券取引所 JASDAQ市場
公 告 掲 載 新 聞	日本経済新聞 貸借対照表および損益計算書掲載のホームページアドレス https://www.new-cosmos.co.jp/ir/earning/

(ご注意)

1. 株主さまの住所変更、買取請求、配当金の振込指定、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取り扱いいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

(ご案内)

少額投資非課税口座(NISA口座)における配当等のお受け取りについて

新規に購入された当社株式をNISA口座でご所有される場合、配当等につき非課税の適用を受けるためには、口座管理機関(証券会社等)を通じて配当等を受け取る方式である「**株式数比例配分方式**」をお選びいただく必要があります。

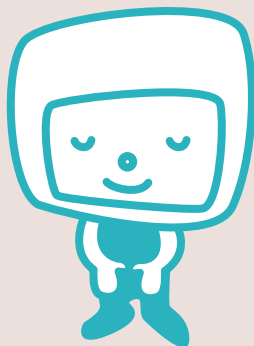
なお、ご所有の株式のうち、特別口座に記録された株式をお持ちの株主さまは「**株式数比例配分方式**」をお選びいただくことができませんのでご注意ください。

NISA口座に関する詳細につきましては、お取引の証券会社等にお問合せください。



新コスモス電機株式会社

当社では、株主のみなさまの声を聞かせいただくため、アンケートを実施いたします。お手数ではございますが、アンケートへのご協力をお願いいたします。



株主のみなさまの声を聞かせください

株主さま向けアンケート

下記URLにアクセスいただき、アクセスコード入力後に表示されるアンケートサイトにてご回答ください。所要時間は5分程度です。

 <http://www.e-kabunushi.com>

アクセスコード
6824

いいかぶ

検索



空メールにより
URL自動返信



kabu@wjm.jpへ空メールを送信してください。(タイトル、本文は無記入)
アンケート回答用のURLが直ちに自動返信されます。



携帯電話からもアクセスできます

QRコード読み取り機能のついた携帯電話をお使いの方は、
右のQRコードからもアクセスできます。



アンケート実施期間は、本書がお手元に到着してから
約2ヶ月間です。

ご回答いただいた方の中から抽選で薄謝
(図書カード500円)を進呈させていただきます



※本アンケートは、株式会社 a2media (イー・ツー・メディア) の提供する「e-株主リサーチ」サービスにより実施いたします。

(株式会社 a2media についての詳細 <http://www.a2media.co.jp>)

※ご回答内容は統計資料としてのみ使用させていただきます、事前の承諾なしにこれ以外の目的に使用することはありません。

●アンケートのお問合せ 「e-株主リサーチ事務局」

TEL:03-5777-3900 (平日 10:00~17:30) MAIL:info@e-kabunushi.com



みんなでシェアして、低炭素社会へ。

新コスモス電機株式会社は、Fun to Share に賛同しています。